



## 2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年5月9日

上場会社名 株式会社アクシス 上場取引所 東  
コード番号 4012 URL <https://www.axis-net.co.jp/>  
代表者（役職名）代表取締役 会長執行役員 CEO（氏名）小倉 博文  
問合せ先責任者（役職名）取締役 常務執行役員 管理本部長（氏名）小菅 直哉（TEL）03-5501-1277  
四半期報告書提出予定日 2024年5月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2024年12月期第1四半期の業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	1,806	16.8	219	11.4	226	12.0	145	10.6
2023年12月期第1四半期	1,547	—	196	—	202	—	131	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	34.95	33.59
2023年12月期第1四半期	32.44	30.66

当社は、2023年12月期第1四半期から非連結での業績を開示しております。そのため、2023年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	4,232	3,107	73.4
2023年12月期	4,064	3,003	73.9

（参考）自己資本 2024年12月期第1四半期 3,107百万円 2023年12月期 3,003百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年12月期の業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,504	14.0	752	15.2	765	14.8	526	13.7	125.11

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年12月期 1 Q	4,320,600株	2023年12月期	4,238,200株
2024年12月期 1 Q	100,000株	2023年12月期	100,000株
2024年12月期 1 Q	4,172,095株	2023年12月期 1 Q	4,062,611株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される一方、世界的な金融引締めに伴う影響や地政学リスクの高まりなど、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、金融資本市場の変動等による影響に注意が必要な状況が続いております。このような状況の中、日銀短観2024年3月調査によると、当社サービスの重要な顧客である金融機関を含む全産業のソフトウェア投資額は2024年度計画が前年度比9.8%増となっており、IT投資は不透明さが残る環境下でも堅調に推移すると期待されます。

このような当社を取り巻く環境の中、中期経営計画Vision2027にて、① 進化するデジタル社会において、成長性の高い技術とサービスを提供する、② 生産性の高い事業を構築し、高収益企業となる事を目指す、③ 社会への還元と課題解決に努め、存在価値の高い企業となる、を中期経営方針として掲げ、同時に策定した3つの経営戦略(事業戦略、経営基盤強化、投資戦略)を推し進め、デジタル社会に貢献するサービスの拡充や体制の強化を図っております。また、顧客からの信頼を獲得し、持続的にサービスを提供するために、高度化する多数の先端技術の吸収を積極的に行うとともに、顧客及びビジネスパートナー向け営業体制の強化、業容拡大に向けた人材の積極採用、充実したサービス提供に向けた人材育成等の施策を行ってまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間において、売上高は1,806,414千円と前第1四半期累計期間と比べ259,216千円(16.8%)の増収、営業利益は219,018千円と前第1四半期累計期間と比べ22,456千円(11.4%)の増益、経常利益は226,417千円と前第1四半期累計期間と比べ24,346千円(12.0%)の増益、四半期純利益は145,797千円と前第1四半期累計期間と比べ13,987千円(10.6%)の増益となりました。

なお、当社は、システムインテグレーション事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

事業のサービス別売上高については、以下のとおりであります。

#### a システムインテグレーション事業

当第1四半期累計期間においては、高度化するデジタル社会の中において、確かな技術でサービスを提供できるIT人材を獲得するため、様々なチャネル等を活用した人材の採用を進めるとともに、人材育成の強化、ビジネスパートナーとの協力関係の強化及び新規のビジネスパートナーの開拓を行うなど、受注拡大に向けた体制構築を進め、顧客からの要望に応えるよう努めてまいりました。

この結果、新規開拓と既存案件の拡大を主因とした銀行向け売上や、官公庁や航空系案件の受注増を背景に公共社会インフラ分野向け売上が引き続き好調に増加するなどし、当第1四半期累計期間の売上高は1,697,358千円と前第1四半期累計期間と比べ231,276千円(15.8%)の増収となりました。

#### b ITサービス事業

当第1四半期累計期間においては、利用者目線を大切にサービス提供を継続するために、顧客要望を積極的に確認し、サービスの改善に努めてまいりました。特に物流の2024年問題への対応を進め、リアルタイム運行管理システムKITAROサービスの機能拡充を図りました。また、当社のサービスノウハウを活用した他社サービスの構築案件も順調に推移しております。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は109,055千円と前第1四半期累計期間と比べ27,939千円(34.4%)の増収となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

財政状態は次のとおりであります。

#### (資産)

当事業年度末の資産合計は、前事業年度末と比較して168,319千円増加し、4,232,944千円となりました。その主な要因は、現金及び預金が15,207千円、売掛金及び契約資産が106,810千円、繰延税金資産等の投資その他の資産合計が38,882千円増加したことによるものです。

(負債)

当事業年度末の負債合計は、前事業年度末と比較して64,131千円増加し、1,125,427千円となりました。その主な要因は、買掛金が3,672千円、賞与引当金が91,935千円、退職給付引当金が5,873千円増加した一方、未払金や未払費用等のその他が34,302千円減少したことによるものです。

(純資産)

当事業年度末の純資産合計は、前事業年度末と比較して104,187千円増加し、3,107,517千円となりました。その主な要因は、四半期純利益の計上等により利益剰余金が71,310千円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は73.4%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の個別業績予想につきましては、2024年2月8日に公表いたしました内容から変更はございません。

なお、本資料は発表日現在において入手可能な情報に基づいた見通しであり、実際の金額は、今後の様々な要因によって変動する場合があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,466,643	2,481,851
売掛金及び契約資産	941,352	1,048,163
商品	4,771	7,993
貯蔵品	22,740	13,954
その他	48,752	72,414
貸倒引当金	△1,656	△1,711
流動資産合計	3,482,603	3,622,665
固定資産		
有形固定資産	77,888	74,825
無形固定資産		
のれん	215,300	207,876
その他	886	748
無形固定資産合計	216,187	208,625
投資その他の資産		
その他	288,845	327,728
貸倒引当金	△900	△900
投資その他の資産合計	287,945	326,828
固定資産合計	582,021	610,279
資産合計	4,064,625	4,232,944
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	269,647	273,320
未払法人税等	119,961	116,911
賞与引当金	—	91,935
その他	411,194	376,892
流動負債合計	800,803	859,060
固定負債		
退職給付引当金	260,493	266,367
固定負債合計	260,493	266,367
負債合計	1,061,296	1,125,427
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	45,521	61,959
資本剰余金	145,196	161,635
利益剰余金	2,822,986	2,894,296
自己株式	△10,375	△10,375
株主資本合計	3,003,329	3,107,517
純資産合計	3,003,329	3,107,517
負債純資産合計	4,064,625	4,232,944

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	1,547,197	1,806,414
売上原価	1,124,652	1,343,768
売上総利益	422,545	462,645
販売費及び一般管理費	225,983	243,627
営業利益	196,562	219,018
営業外収益		
受取利息	10	12
助成金収入	5,385	6,315
その他	111	1,070
営業外収益合計	5,508	7,398
経常利益	202,070	226,417
特別損失		
抱合せ株式消滅差損	668	—
特別損失合計	668	—
税引前四半期純利益	201,401	226,417
法人税、住民税及び事業税	102,697	116,913
法人税等調整額	△33,106	△36,294
法人税等合計	69,591	80,619
四半期純利益	131,810	145,797

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。